

『夢や願いをかなえることが
できるまちづくり』への第一歩を踏み出す

平成25年度

町政執行方針



まず、昨年12月の町長選挙におきまして、町民の皆様への心温まる「厚情と」支援を賜り、2期目の町政を担わせていただくことになりました。改めてその責任の重さを認識するとともに、決意を新たにいたしました。

これまでの4年間、私は「まちの隅々まで光のあたるまちづくり」を基本理念に、決して弱者をひたすら、上富民野町の基盤である農業・商工業を中心とした産業の振興と、町民生活に必要な生活環境の整備に努め、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりに取り組みできました。

この間、就任時に町民の皆様と想いを共有させていただきました数々のまちづくりについて、しっかりと根を下さすことができたもの、達成への仕組みづくりができたものもより、いまだ道半ばのものもあり、これらの実態を検証し、これからの任期においては皆様の夢や願いをかなえることができるまちづくりを基本に据え「住民の安心安全」「健康づくりや心が通う福祉の充実」「世代を通じた教育の振興と充実」「自衛隊・駐屯地との信頼関係の強化」、さらには「活気が生まれる産業の基盤づくり」、これらを実感できるまちづくりに向け、誠心誠意全力で取り組んでいく決意です。

長引く景気低迷 の中で

わが国の経済状況は、長引くデフレ状況が続く中で、昨年には一時回復に向けた動きが見られたものの、ヨーロッパの財政不安などもあり、再び弱い動きとなりました。

そのような中、昨年12月に行われた衆議院選挙では政権交代があり、新政府は経済回復を最優先課題と位置付け

ました。「大胆な金融政策」をはじめとした「三本の矢」を掲げ、「15カ月予算」による切れ目のない緊急経済対策を実施するため、公共事業の前倒しを中心とした補正予算案と新年度予算案を閣議決定したところでです。

依然として厳しい 地方財政

策については

地方税などを加えた一般財源総額では昨年度と同水準とされたものの、地方交付税では東日本大震災の復興財源確保のため、国家公務員給与を平均7.8%カットするとした臨時特例措置を地方公務員にも求めることで、前年比4千億円減の17兆1千億円とされました。

この問題に関しては国と地方6団体との協議により、これまでの地方における人件費の削減努力を考慮し、削減額に見合った額を防災・減災事業、地域の活性化など緊急課題への対応として特別枠を設けることとなりましたが、全く十分とはいえず、その算定方法などについても不透明な部分もあり、財源の多くを地方交付税に依存する我々地方公共団体にとつては大変厳しいもので、今後の財政運営においてこの影響は避けられないと考えられています。



当町におきましても引き続き厳しい経済環境が続いている中、町税などの自主財源の大きな伸びは見込めず、歳入一般財源の中で大きな比率を占める地方交付税についても、ある程度の減額が避けられない状況とされます。

一方歳出においては、社会保障分野での自然増をはじめ、老朽化している道路や建物、施設などの公共施設の改修や、事業化をめざす農地防災など重要な課題が山積していることから、財政需要の増大が避けられない状況となっております。

このような実態から、本年度予算についても、それぞれの事業実施に関しては優先順位などを十分考慮して予算編成を行ってきたところでです。

第一歩を踏み出す

「夢や願いをかなえること

ができるまちづくり」への第一歩を踏み出すことを念頭に、持続可能な安定した財政構造を維持するとともに、その時々々の経済・社会状況を的確に把握し、経済の活性化や人材育成など町の体力強化に積極的に取り組めます。

また、「第5次総合計画」が本年度計画期間の中間年を迎えることから、社会情勢や時代変化に柔軟に対応できるように見直しを行い、より町が活気に満ち、町民の皆様が幸せを実感できる地域風土が醸成できるよう力を注いでいきますので、皆様の「ご支援と」協力をお願いいたします。

※平成25年度の町の予算の内容は、別冊「知っておきたいことしのしごと」をご覧ください。

平成25年度

教育行政執行方針

グローバル化や高度情報化の進展、少子超高齢化など社会の急激な変化に伴い、先行きが不透明な社会へと移行しつつある中、「人と人との支え合い」「ふるさとを愛する心」「子どもたちの自主的な行動」「優しく人を思いやる心」は、教育がめざす原点です。

まちづくりは人づくりと地域の教育によって支えられ、活性化されるものです。その主体となつて次代を担う人材を育むために、教育の果たす役割はますます重要になってきています。

このために教育における不易と流行を見極め、幼児期から高齢期まで、ライフステージに応じた学習の機会を提供するとともに、町民一人ひとりが自



演 服部久和教育長

ら進んで学ぶことに生きがいや喜びを感じ、「笑顔」があらわれる教育行政に取り組んでいきたいと考えています。

教育委員会としては豊かな地域素材や人材を活かし家庭、学校、地域が一体となった教育活動を大切に、「次代を担う豊かな人づくり」を進めます。

学校教育の推進

「夢ひろげ、たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成」を基本方針に「確かな学力と豊かな心やたくましい体の育成」「開かれ信頼される学校づくりの推進」「人間力を磨く教師の育成」「教育条件整備の充実」のさらなる推進に努めます。

地域に開かれ、信頼される学校づくりのため、地域の方々などによる授業参観の継続や、学校評議員など外部の声を活かした学校運営を心がけ、住民会や町内会による登下校時の見守りパトロールなど、地域総ぐるみで協力的体制づくりを進めていきます。

いじめや不登校、虐待、自殺、体罰など、子どもたちを取り巻く問題が依然として後を絶たないことから、児童・生徒が発する危険信号を見逃さ

ず、早期発見に努めます。

特別支援教育においては、障がいなどのある子どもへの教育ニーズに応じた校内体制の構築と指導方法の改善を継続するとともに、今年度は上富良野小学校に言語学級を、東中小学校には知的学級と情緒学級を新設します。

社会教育の推進

教育環境の整備として上富良野小学校の校舎改築工事に着手し、来年度の竣（しゅん）工予定を進めていきます。

生涯にわたって自主的に学ぶ機会を提供し「豊かな心と健全な体を育み、潤いある地域づくりをめざす生涯学習」を進めます。

「親子の絆」や「健やかな子育て」の向上をめざして、多様な学習機会や情報の提供とともに、本の読み聞かせや芸術鑑賞など情操を豊かにする取り組みを、地域の教育力も活用させていただきながら充実を図っていきます。



を通じ、上富良野の子どもたちが健やかに育つ環境づくりを継続します。

また、成人者や高齢者が培った知識や技能を、各種の学習活動や体験活動に活かし伝えていただくなど、積極的なかわりの中で、学び合い支え合う人づくり、町づくりを進めます。

今年度は、総合文化祭50回目の年に当たることから記念事業を実施するとともに、文化連盟が創立50周年を迎え、郷土をさぐる会が郷土をさぐる発刊30号特別号を発刊するにあたり、それらの活動を支援します。

スポーツは人格の形成、体力の向上や心身の健康増進とともに、多くの夢や大きな感動、楽しみを与え、活力に満ちた社会を形成するうえで大切な役割を果たしていることから、それぞれの体力や年齢に応じた多様なスポーツや体力増進に取り組むことができるよう、各種スポーツ大会の開催、競技力向上や各種スポーツ団体の自主的な活動、指導者への支援に努めます。

生涯学習社会の実現をめざして

「豊かな人づくり」には教育が果たす役割は大きく、たくましく未来を切り拓く子どもたちを地域全体で守り育てていくことが重要です。

教育委員会では、教育、文化、スポーツの振興と生涯学習社会の実現をめざし、一つ一つの施策を全力で取り組んでいきます。「支援と協力をお願いいたします。」